

仁王 魚 入間川  
におう 説法 うおせっぽう  
いるまがわ

キラリふじみ  
錦秋狂言  
万作の会

2020

10/6 火

19時開演 [18時30分開場]

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ メインホール

料金 (全席指定)——一般●4,300円 / U-25●2,500円 / 高校生以下●1,000円

主催・お問い合わせ——富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

TEL 049-268-7788 <http://www.kirari-fujimi.com/>

KIRARI  
FUJIMI



# キラリ☆ふじみ 錦秋狂言

人間国宝・野村万作、狂言にとどまらず多彩な才能を発揮する野村萬齋を中心に贈りする、万作の会の狂言公演。十回目の今回は、埼玉を舞台にした演目で親しみを覚える『入間川』、巧みな言葉遊びが楽しい『魚説法』滑稽味があふれる姿が笑いを誘う『仁王』、狂言の多彩な魅力をあますところなくお届けする三曲です。

上演前には、野村萬齋による「解説」がございます。初めてのご観劇の方には、狂言の世界に親しみやすく、お馴染みの方にはより深くお楽しみいただけるよう、狂言の魅力や演目について丁寧にお話します。

和やかな笑いをもたらす洗練された至芸を心ゆくまでご堪能ください。

【あらすじ】

入間川 いるまがわ

長らく都に来ていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たった。そこで出会った人間に住む男が「そこは深い」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまってずぶぬれになってしまふ。昔から人間では「人間(いるま)様(よう)」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

逆さ言葉によるセリフのやりとりが面白い作品です。入間川は現在も埼玉県南西部を流れる川。狂言には珍しく、関東を舞台にしています。

魚説法 うおせっぽう

堂を建立した施主が、堂供養を頼もうと寺を訪ねる。しかし住持が留守のため、留守番の新発意(しんぱち)・出家して間もない修行中の僧(そう)が説法を頼まれる。お布施欲しさに引き受けた新発意だが、実は度も説法をしたことがない。子供の頃浜辺に住んでいた新発意は、知っている魚の名前を連ねてごまかすことにする。いよいよ説法が始まるが…。

みごとに魚の名が織り込まれた説法が聞きどころです。洒落の効いた言葉遊びが楽しい狂言です。

仁王 におう

負けつづけの博奕打が、財産も尽きてしまったので旅に出ることにするが、その前に世話になった知人に挨拶に行く。すると知人から、仁王の格好に扮装し、仁王が天下ったと触れ回って信心深い人々から供え物を騙し取ることを提案される。早速博奕打が仁王になりすまして待っていると、期待通り参詣人が次から次へとやってきて、さまざまに願い事をかけては供え物を置いていく。味をしめた博奕打がそのまま次の参詣人を待っている…。

中世ならではの「靈験詐欺」を描く作品ですが、大勢の参詣人が集う様には当時の活気がそのまま感じられます。皆様も参詣人と共に、そっと心の中でお願い事をされてみてはいかがでしょう。



野村万作 のむらまんとく

一九三二年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父故初世野村萬齋及び父故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の秘曲である『釣狐』の演技で芸術大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章等多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に『月に憑かれたピロ』、『子午線の祀り』、『秋江』、『法螺待』、『教』、『山月記』、『名人伝』等がある。近年では『檀山節考』の再演に取り組み、大きな成果をあげている。



野村萬齋 のむらまんとく

野村万作の長男。祖父故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会開会式・閉会式チーフ・エグゼクティブ・クリエーター・ディレクター。

番組	解説	野村 萬齋
入間川	大名 深田 博治 太郎冠者 飯田 豪 入間の何某 高野 和憲 後見 内藤 連	野村 萬齋 野村 万作 石田 淡朗 中村 修一
魚説法	新発意 野村 万作 施主 石田 淡朗 後見 中村 修一	野村 万作 石田 淡朗 中村 修一
仁王	博奕打 野村 萬齋 何某 石田 幸雄 参詣人 内藤 連 参詣人 中村 修一 参詣人 岡 聡史 男 月崎 晴夫 後見 飯田 豪	野村 萬齋 石田 幸雄 内藤 連 中村 修一 岡 聡史 月崎 晴夫 飯田 豪

会場 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ メインホール

チケット料金 [全席指定]

一般：4,300円 U-25：2,500円 高校生以下：1,000円  
\*身体障害者手帳をお持ちの方は3,500円(窓口・前売のみ)

チケット発売開始日 2020年8月8日(土)

※発売初日は、1予約につき4枚まで。

予約・購入方法

- ① キラリ☆ふじみ窓口 [9時～21時] \*8日9時より
- ② オンライン予約 <http://www.kirari-fujimi.com> \*8日10時より
- ③ 電話 049-268-7788 [9時～22時] \*翌9日9時より

※未就学児童の入場はご遠慮ください。※開演後のご入場は、指定された席にご案内できない場合がございます。※感染症対策として適切な間隔を保つため、前後左右をあけてお席を販売致します。連席でのお求めはできません。また、空席を設けているため、販売数を限定して販売致します。

チケット取扱い・お問い合わせ 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬 1803-1

TEL 049-268-7788 [電話予約 9:00～22:00 / 窓口取扱い 9:00～21:00]

<http://www.kirari-fujimi.com> \*WEB予約・販売あり

主催：公益財団法人キラリ財団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

写真：政川慎治 デザイン：松井雄一郎

●当館主催事業の開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応のため、会場内の換気や消毒、客席間の距離の確保、入退場時の手指消毒の徹底やソーシャルディスタンスを確保した入場列の誘導など、状況に応じた対策をとりながら実施をいたします。

●チケットをご購入の際は、当館ホームページ及び館内に掲示しております「当館主催事業にご来場のお客様へ」を必ずご確認ください。また、ご来場時や観劇の際には、マスクの着用にご協力いただき、37.5℃以上の発熱がある方や、体調不良に不安がある方は体調を最優先していただき、ご来場をお控えください。

交通のご案内

【電車】最寄駅＝東武東上線「鶴瀬」駅まで池袋より準急で29分。東口より徒歩20分。東口バス乗り場(乗り場①)から東武バス「ららぽーと富士見」行きご利用が便利です。乗車時間約5分。バス停から徒歩約3分。「志木」「ふじみ野」各駅からも「ららぽーと富士見」行きバスが出ています。

【お車】富士見川越バイパス「富士見市街出口」を降りてすぐ。富士見市役所隣り。駐車場(無料)は台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

